

會員から會員へ

この部分は、會員から會員への公開の通知のために提供されてある。つぎのやうな目的に利用せられることを期待する。

1) 本誌へ掲載された論文の詳報あるひは續報が他の雑誌に掲載された時、その題名、掲載誌名、巻、號、頁、發行年月等を本會員のために通知していただきたい。

2) 本誌へ掲載された論文について、簡単な追加、補遺等を公開せられる時にも利用していただきたい。ただし記事は具體的なことを取り扱つたものであることを要する。字數は400字以内に制限する。

* * *

本會の趣旨に賛して、ただちに原稿を寄せられた會員が極めて多かつたのは、感銘の深いことである。本誌に掲載した原稿はいづれも規定に従つて書かれてあつたのであるが、印刷になつて規定の4頁を超えたものがあつたのは、表の占める廣さについて筆者に誤算があつたためと思はれる。表の占める廣さは、印刷になつても案外減じないものである。例へば、表において10行占めてゐるものは、印刷になつても、そのまゝ10行を占めることが多い。故に、原稿用紙でたとひ規定内(400字詰原稿用紙10枚以内)に書かれてあつても、表が大きいと、印刷になつて4頁以内におさまらないことがある。

脚註や挿圖についても同じことがいへる。

最初に寄せられた原稿は、印刷の進行上大抵そのまま掲載したが、これからのものは、この點に十分氣をつけていただきたい。要するに、表、挿圖、脚註が印刷面で占める廣さを十分に考慮していただきたい。

* * *

これは投稿規定にあることであるが、記述は、論旨を明白に了解し、かつこれを批判し得る程度に具體的であることを要する。

* * *

本會の趣旨に徹し、本誌の性格とをはずきりと保つてゆくために、理解ある御協力を期待してゐる。

編集委員